



みやぎ

— 80号 —



発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
 発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
 〒989-2202
 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

合戦原遺跡と宮城病院

院長 永野 功



宮城病院のある合戦原という地名は、古代から当地でしばしば合戦があったためにその名がつけられたようです。近くには「頭無」というちょっと怖い地名もあり、これも過去の合戦に関係しているのかもしれませんが。この地には古代から有力な豪族が割拠していたようで、飛鳥時代には大和朝廷支配の最北端でした。そのころから、生死をかけた勢力争いが繰り返行われていたと思われれます。近世でも、16世紀後半に伊達家の家臣である亶理家が坂元城を築き、奥州相馬氏と盛んに合戦を行った歴史が知られています。山元町には縄文から中世、近世までに渡る多数の遺跡がありますが、宮城病院の敷地内にある合戦原遺跡は規模が大きく、古墳群、集落跡、横穴墓群、須恵器窯、製鉄遺構とともに種々の遺物が出土されています。当院の応接室には、いつのころからか、土器や鉄滓などが展示されていて、これらも当院敷地で発見されたようです



山元町生涯学習課の方と

(これらの遺物は、今年8月21日に山元町へ寄贈されました)。さて、合戦原遺跡の本格的な発掘調査は2014年から行われました。その契機となったのは東日本大震災です。宮城病院敷地北側一帯が「震災復興に伴う集団移転予定地」に指定され、工事で破壊される前に予定地を含んだ広範囲な地域を町と県が中心になって一気に発掘調査が行われました。その結果、多数の横穴墓が発掘され、中から土器や馬具、刀など豊富な副葬品が出土しました。中でも飛鳥時代の「金銅製装飾付大刀（こんどうせいそうしょくつきたち）」という刀は極めて貴重なものだそうで、その美しい復元品が山元町歴史民俗資料館で10月27日から公開されます。さらに、7世紀から8世紀にかけて作られた横穴墓の玄室奥壁に人物や動物などの線刻画が発見されました。これほど多様な図柄がみられる線刻画は東北地方ではまれであり、永久保存のために時間をかけて移設され、現在は町の歴史民俗資料館に展示されています。この線刻画をもとにしてキャラクター「せんこくん」が生まれました。当院創立80周年を記念して作った宮城病院版せんこくんもありますので、ご興味のある方は当院のHPをご覧ください。古代から血腥い争いが繰り返されたこの合戦原の地には、宮城病院の周囲に復興住宅や介護施設が整備され、今では医療と福祉の場となっています。合戦原の悠久の歴史に思いをはせながら、当院は地域の中で人々の生命と暮らしを守る戦いを地道に続けてゆきます。



敷地内から出土した遺物

基本理念 「良い医療を安全に、心を込めて」

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコット

キャラクター

「みやべりー」

宮城病院
Instagram



※読み取ってください

第77回国立病院総合医学会に参加して

この度、国立病院総合医学会参加のため広島へ行ってきました。

私たちの部署はFUS（MRガイド下集束超音波治療）に関する発表を行ったのですが、FUSに関する内容は宮城病院だけでした。聞きに来てくださった方へパンフレットをお渡ししましたが、機構内の中でもまだまだFUSという治療法の知名度が低いと感じ、少しでもFUSを知ってもらえる機会となったと思います。

私自身、学会会場への出席が久しぶりでした。会場内は活気があふれ、熱気に包まれていました。

発表前かなり緊張していたので、周りを見る余裕があまりなかったのですが、時間があればゆっくり他の病院のポスターや発表を聞いて回りたいかったです。

無事に発表を終えられたのも院長先生、副院長先生、諸先生、看護部の方々のご指導のおかげです。ありがとうございました。

（手術・中央材料室 佐藤 千佳）



学会に参加した佐藤看護師

山元町クリーンキャンペーン

今年も山元町・亶理町からのボランティアのご協力をいただき、10月14日宮城病院クリーンキャンペーンが開催されました。天候にも恵まれ、約2時間にわたる環境整備作業を無事実施することができました。

宮城病院は約11万平米という広大な敷地と緑豊かな自然に囲まれています。その広大な敷地ゆえに管理も難しく、職員の手だけではあつという間に草が生い茂ってしまいます。

このクリーンキャンペーンは山元町・亶理町・宮城病院の相互協力協定に基づく事業で、各行政区の皆様、企業の皆様ボランティア活動により開催されています。今年も300人を超える参加者となり、改めて皆様のご協力に感謝いたしているところです。

橋元山元町長にも冒頭ご挨拶をいただき、地域医療における宮城病院の役割につきまして「なくてはならない存在」とお言葉をいただきました。宮城病院の永野院長からも地域医療を支えていきたいと、両町と宮城病院の相互協力関係を改めて感じさせられた機会でした。

多くの皆様のお陰で、生い茂っていた草木はほとんど取り払われ、整備が行き届かなかった宿舎付近もたちまち綺麗になっていきました。高所作業車も入っていただき、電線に覆い被さっていた木々も綺麗に伐採していただきました。

皆様のお陰で見違えるほど綺麗な宮城病院になりました。ご協力本当にありがとうございました。

（庶務班長 小端 直）



参加していただいた皆さん



打ち合わせ中の様子

高所作業車も出動しました



新型コロナワクチン接種業務について

薬剤部では、ワクチン接種事業が開始された当初より、ワクチンの保管・管理および住民接種のワクチンの充填業務等を行ってきました。9月22日（金）より、当院においてオミクロン株対応1価ワクチン（XBB.1.5）の住民接種が開始されました。

このオミクロン株対応1価ワクチン（XBB.1.5）は、生後6か月以上の全ての方を対象として、令和5年9月20日より接種が開始されており、非臨床試験等において現在の流行株であるオミクロンXBB系統に対して、重症化予防効果はもとより、発症予防効果の向上も期待されています。

ワクチン接種は新型コロナウイルス感染症の重症化の予防を目的としており、ワクチンを受けた人では、ワクチンを受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した割合が少ないことが分かっていますので、接種されることをお勧めします。薬剤部としては、引き続きワクチン接種事業への協力を行っていきたくて考えております。

（副薬剤部長 菅原 秀悦）



ワクチンメーカーによって管理温度が異なるため、2種類の冷蔵庫を使用しています



楽しく健康体操！

皆さんこんにちは。酷暑となった夏も終わり、活動しやすい季節となりました。皆さんは定期的に運動されていますか？日々の生活の中で、継続することは中々大変なことですよ。

そこで今回は、ご自宅でも簡単にできる「コグニサイズ」をご紹介します。「コグニサイズ」は、国立長寿医療研究センターが開発した認知症予防プログラムのことで、例えばウォーキングとともに計算やしりとりなど、運動と認知課題を同時に行うもので、心身の機能を向上させる効果があります。身体の運動と一緒に、頭も使う面白い体操です。私も患者様のリハビリメニューの一つとして、楽しみながら取り組んだりしています。今回はコグニサイズ中の一つ、コグニステップをご紹介します。おひとりでもできますが、ご家族やご友人を誘ってぜひ取り組んでみてください。その他にも様々なメニューがあります。詳しくご覧になりたい方は国立長寿医療研究センターHP（下記URL）をご参照ください。

<https://www.ncgg.go.jp/hospital/kenshu/index.htm>

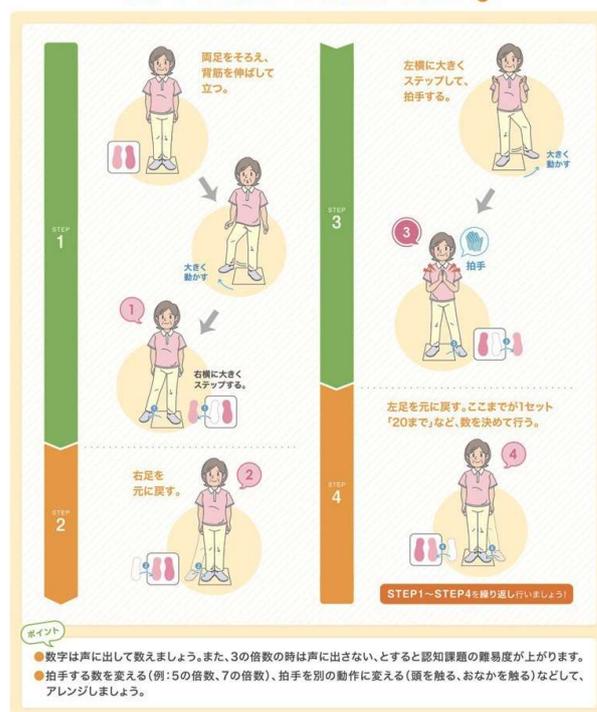
（一般作業療法主任 三浦 陽平）

立ってコグニサイズ

1人でできる
コグニサイズ①

コグニステップ 右横・左横にステップ

ステップ運動 + 3の倍数で拍手👏



出典：国立長寿医療研究センター
コグニサイズのパンフレットより

第15回 青年共同宿泊研修



今回の宿泊研修では、様々な職種の方と、私自身にはない物事に対する視点や捉え方、価値観などを学ぶことができました。研修では、人間関係とコミュニケーションに関する講義、グループワーク、スポーツ交流に取り組みました。

特に、人間関係とコミュニケーションに関しては、普段よく耳にする「傾聴」の方法や重要性を深く考える機会となり、良い人間関係を築くために「聞く」姿勢を大切にすることと、自分の常識が相手の常識と一緒にあるとは限らないこと、無理に相手を変えようとせず、自分が変わることの大切さを学びました。また、3つの「聞く」「聴く」「訊く」に関しては状況に合わせて使い分けることが重要だと学びました。



グループワークに参加する梅津看護師

スポーツ交流では、体を動かすゲームを通してチームワークを作り上げる体験を行いました。先頭に立ち、周りを引っ張る人や後方からサポートに回る人など、様々な立ち位置があることが見てとれました。スポーツ交流を通して様々な役割の人のサポートがあって、物事が成り立っていることを再認識することができました。磐梯山登山の予定であったしが、悪天候のため中止となり、それが唯一の心残りです。有意義な研修だったため、今回の様々な学びを日常の看護場面で活かしていきたいです。

(看護師 梅津 翔平)

ふれあい看護体験

2023年10月4日（水）ふれあい看護体験を開催し、高校生3名が参加されました。初めて白衣を身に着け、午前中は手洗い、車椅子操作、感染防護服着脱の看護技術を体験しました。午後は患者さんと風船バレーや塗り絵などを行い、初めは緊張した様子でしたが、笑顔で患者さんと触れ合うことができました。今回の参加者は、将来、看護師を目指している方たちで、懇談会では「今回の体験で看護師になりたいという思いが強まりました」「看護師になれるか不安だったけど、目指したいと思いました」と、思いが強くなったことを話していました。そんな高校生を見て、私たちも看護師を目指した頃の思いがよみがえり、看護のすばらしさを再認識することができました。

(副看護師長 高橋 いずみ)



感染防護服を着て記念写真



初めての車椅子体験かな



地域医療連携室・医療相談室について

地域医療連携室には看護師が3名、医療ソーシャルワーカー3名、事務員1名が勤務しています。

地域医療連携室の主な役割は「患者さんが医療や介護を切れ目なく受けることができるよう、当院と地域をつなぐこと」と「患者さん・家族の心配事や不安を軽減することができるようお手伝いすること」です。

具体的には、当院に紹介となった患者さんや、当院から他院へ紹介となった患者さんの受診や転院の調整をしたり、介護が必要な患者さんには、情報を提供しながら、介護・福祉サービス事業所との橋渡しをして、必要な介護サービスを受けられるよう支援しています。

また、「病気や治療、受診」「入院費用や医療費などの経済面」「難病や障害者手帳の申請」についてなど、多分野の相談を受け付けています。病状や生活の様子をうかがったうえで、内容に応じた制度の紹介や手続き方法について説明しています。

気になることがありましたら、地域医療連携室にお気軽にご相談ください。お電話でも対応いたします。

今後も広報みやぎの中で、社会資源等について説明させていただきますので、引き続きご覧いただければと思います。

(地域医療連携係長 菊地 操子)



新しいメンバーが加わりました

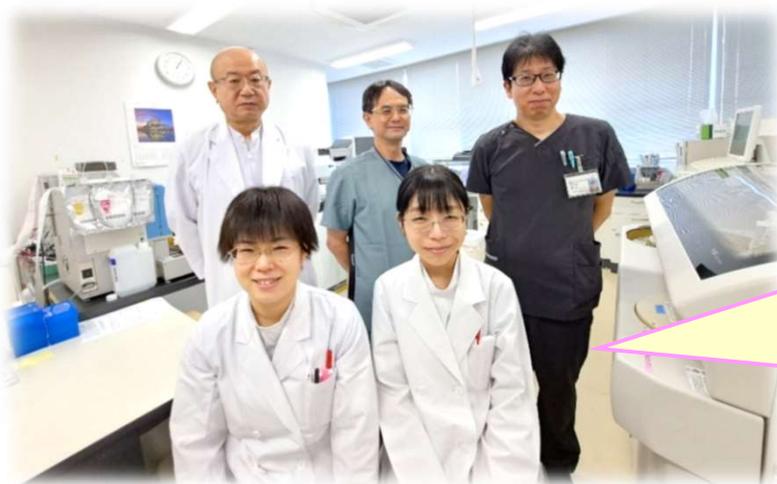
部署・新人紹介

臨床検査科

「臨床検査」は患者様から採取された血液や尿、喀痰などを調べる“検体検査”と生体の機能を調べる“生理機能検査”に分類されます。“検体検査”は臓器の状態（病態）や治療の効果・経過を調べることができ、肝機能検査や腎機能検査、貧血や炎症の程度を調べる検査などがあります。“生理機能検査”は身体から得られた微弱な電気信号や画像、波形などを基に解析を行う心電図検査、脳波検査、呼吸機能検査、超音波検査などがあります。他にもコロナのPCR検査も私たちが検査しています。当院の「臨床検査科」は5名のスタッフで検査業務を行っており、外来と入院の患者様の検体検査や生理機能検査を実施しています。『迅速』で『正確』な検査報告心がけ、『信頼される』臨床検査科を目指しています。そんな臨床検査科へ令和5年4月に新卒のNewフェイスが加わりましたのでご紹介いたします。

(①氏名②ふりがな③職名④出身地⑤趣味・特技⑥ひとこと)

(臨床検査技師長 濱 敏則)



- ①桑原 依子
- ②くわはら よりこ
- ③臨床検査技師
- ④東京都日野市
- ⑤読書・映画鑑賞
- ⑥臨床検査技師として一人前に仕事ができることを目指し、頑張ります。

診療案内

令和5年10月1日現在

診療科		曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患		中屋 亮彦	中村 貴彬	宮澤 康一	松本 有史	平良 摩紀子 (第1・3・5)
	再来		永野 功	齋藤 早紀 (第1・3・5)	永野 功	中屋 亮彦	金子 仁彦 (第2・4)
			中村 貴彬	梅澤 周 (第2・4)	松本 有史		
内科			清野 仁 志澤 聡一郎 齊藤 秀行	清野 仁 結城 翼	志澤 聡一郎 齊藤 秀行	清野 仁 志澤 聡一郎	清野 仁 志澤 聡一郎 菊地 章子 結城 翼
循環器内科	午前				加藤 浩	東北大学病院から	
	午後		東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科				佐野 寛仁			
消化器内科	午後				県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前		八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後			(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
			東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)	
形成外科					館 一史	澤村 武 波部 紀久子 (通替わり 13:30~15:30)	
皮膚科	午前					東北大学病院から	
脳神経外科			仁村 太郎	安藤 肇史 永松 謙一 (不定期)	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
歯科			稲木 涼子 中原 寛子	稲木 涼子 中原 寛子	稲木 涼子 中原 寛子	稲木 涼子 中原 寛子	稲木 涼子 中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)		
入れ歯外来				白石 成		小川 徹	

受診される方へ

①受付時間は8:30~11:00です。

②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始
(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、急患の方は随時受付いたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2750円を負担していただくことになりますので予めご了承ください。

交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から■

JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。
(詳しくはお問い合わせください)

